

■一般目標 (GIO)

生体に調和した形態の補綴装置の製作方法を理解するために、顎口腔を構成する諸器官の機能の基礎を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・歯列と咬合関係を説明できる。
- ・顎口腔系を構成する骨を概説できる。
- ・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。
- ・顎口腔の神経支配を概説できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 顎口腔機能学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：水曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：李 淳 水曜日・17:00～18:00

木内 香 (kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp) 水曜日・17:00～17:45

■成績評価：定期試験(80%)，1回～4回までの平常試験(20%)で評価する。平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：ノート，教科書を持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を4回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：李 淳：現在，在職する日本大学歯学部総義歯補綴学および附属歯科病院の総義歯補綴科での経験を基に歯科医師の立場から，歯科技工学において必要な咬合や顎口腔の機能について学ぶ場を提供したいと考えている。

■関連教科：顎口腔機能学（2年），口腔顎顔面解剖学（1・2年），有床義歯技工学（全学年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月1日 李 淳	顎口腔機能学概説	・顎口腔系の形態と機能および，これらを維持，回復する目的を概説できる。
第2回 10月8日 李 淳	1. 顎口腔系の形態 1) 歯と歯列 2) 顎口腔系を構成する骨 (教) pp. 1-4	・歯列と咬合関係を説明できる。 ・顎口腔系を構成する骨を概説できる。
第3回 10月15日 李 淳	1. 顎口腔系の形態 3) 顎口腔系に関する筋 4) 顎関節 (教) pp. 5-10	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・顎関節の構造と機能を説明できる。
第4回 10月22日 李 淳	1. 顎口腔系の形態 5) その他の軟組織 6) 顎口腔系の神経支配 (教) pp. 10-11	・顎関節の構造と機能を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。
第5回 10月29日 李 淳	1. 顎口腔系の形態まとめ (教) pp. 1-11 「平常試験」①，解説	・顎口腔系の形態について総合的に理解できる。 ・第1回～4回の講義内容を再確認し，理解度を深める。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第6回 11月5日 李 淳	2. 顎口腔系の機能 1) 顎口腔系とその機能 2) 顎口腔系の機能と形態の維持 (教) pp. 13	・顎口腔系の機能を説明できる。 ・顎口腔系の機能と形態を維持する意義を概説できる。
第7回 11月12日 李 淳	2. 顎口腔系の機能 3) 下顎運動の分析に関する基準点・基準面 4) 咬合に関する平面 (教) pp. 14-18	・下顎運動の分析に必要な基準点を説明できる。 ・咬合に関与する平面を説明できる。
第8回 11月19日 李 淳	2. 顎口腔系の機能まとめ (教) pp. 13-18 「平常試験」②, 解説	・顎口腔系の機能について総合的に理解できる。 ・第6回～7回の講義内容を再確認し、理解度を深める。
第9回 11月26日 木内 香	3. 下顎位 1) 咬頭嵌合位 2) 中心位 (教) pp. 19-20	・下顎位の定義を説明できる。
第10回 12月3日 木内 香	3. 下顎位 3) 下顎安静位 4) 偏心咬合位 (教) pp. 20-22	・下顎位の定義を説明できる。
第11回 12月10日 木内 香	3. 下顎位まとめ (教) pp. 19-22 「平常試験」③, 解説	・下顎位について総合的に理解できる。 ・第9回～10回の講義内容を再確認し、理解度を深める。
第12回 12月17日 木内 香	4. 下顎運動 1) 下顎運動の種類 2) 下顎の基本運動 (教) pp. 23-26	・下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。
第13回 12月24日 木内 香	4. 下顎運動 3) 下顎の限界運動 (教) pp. 26-29	・下顎の限界運動を説明できる。
第14回 1月14日 木内 香	4. 下顎運動 4) 下顎の機能運動 (教) pp. 30-33	・下顎の機能運動を説明できる。
第15回 1月21日 木内 香	4. 下顎運動まとめ (教) pp. 23-33 「平常試験」④, 解説	・下顎運動について総合的に理解できる。 ・第12回～14回の講義内容を再確認し、理解度を深める。